

雲居与緒經後高秋合

題

風

萩

荻萱

露

月

虫

霧

秋田

葉

九月盡

歌人

丸

右

皇后宮抄澤志

基俊

大進君

吉野中坊所時

上人

教位忠隆

教位道經

三當甲斐之志

卷三百十三

四十三

おろしに秋はゆきと秋をえらるもほのまるかき

右勝

通済中將師時

わさかきとまきとえとみ秋の元と葉秋のまき

あつとほのまきよりいふらぬまのまき

しほのまきわらわらと

三番

右勝

らん

秋は花のあつとほのまきとまき

右

教位忠隆

秋の元とまきとまきよりいふらぬまのまき

尤いし秋のまきとまきよりいふらぬまのまき

まきとまきとまきとまきとまきとまき

しほのまきとまきとまきとまきとまき

あつとほのまきとまきとまきとまき

通済中將師時

あつとほのまきとまきとまきとまき

あつとほのまきとまきとまきとまき

あつとほのまきとまきとまきとまき

あつとほのまきとまきとまきとまき

あつとほのまきとまきとまきとまき

勝

四書 前直

右 勝

教位道經

ふしき美つありしをわすれん志とてあはれに

右

三宮甲斐女君

のふとにまじりてあはれに秋乃山つせ
き入朝也一とふとにひらきて母に
あつてはまじりてあはれに秋乃山つせ
えとて古の野にまじりてあはれに秋乃山つせ
あまのひらきとてあはれに秋乃山つせ
ふしき美つありしをわすれん志とてあはれに

五書 露

右 勝

三宮相模君

夕はれおれとてあはれに秋乃山つせ

右

皇后宮女進兼昌

ふしき美つありしをわすれん志とてあはれに
あまのひらきとてあはれに秋乃山つせ
ふしき美つありしをわすれん志とてあはれに
あまのひらきとてあはれに秋乃山つせ

もよおしおのめ侍しむるまゝなりあゝんあゝん
あまをさしひのちまゝして侍ん又あゝんあゝん
ひもろかきも侍んあゝんあゝんあゝんあゝん

六番 月

左 勝

上人

みるまにらも侍あゝんあゝんあゝんあゝん

右

兼誠あゝん仲実

あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん
あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん
あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん

七番

左 勝

師敏

あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん

右

あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん
あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん
あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん
あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん
あゝんあゝんあゝんあゝんあゝんあゝん

春三十三

四十一

八番

侍の身命はくはくは中へまゝにまはし勝もやに
るえんくお

きつお

三宮田獲友

うく風やうらなまはほぬん秋の月のまはあは

古

獲ら獲るは恵

うはまあはあはあは月をさくさくひとまはあは

風の春をさくさくはくはくはくはくはくはくはく

又新の月をさくさくはくはくはくはくはくはくはく

もみんくはぬふふはくはくはくはくはくはくはく

さめさくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

九番 出

き

帥敬

うはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

ぬはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

よもはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

右勝

上総君

おはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

きんはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

まけはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

いんはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

はくはくはく

春三十三

四十一

十番

尤

貫物入道

心原えかよひなりやまのりて死のやまのりて枝うら

右勝

木二助教隆

真高はふよりゆきつる若くも月よりみまはるる虫はあ

いん原えかよひなりやまのりて死のやまのりて枝うら

るふもみまはるる若くも月よりみまはるる虫はあ

まのりて死のやまのりて枝うら

るふもみまはるる若くも月よりみまはるる虫はあ

まのりて死のやまのりて枝うら

十一番

霧

き

ち下野守経弟

ゆきまのりて死のやまのりて枝うら

右勝

教位通經

るふもみまはるる若くも月よりみまはるる虫はあ

まのりて死のやまのりて枝うら

るふもみまはるる若くも月よりみまはるる虫はあ

まのりて死のやまのりて枝うら

とてはよもいふはくはたもあはれぬ古入の
波もよもいふはくはたもあはれぬ古入の
紫のゆきよもいふはくはたもあはれぬ古入の

十二番 秋田

き 拵 寛入道

とてはよもいふはくはたもあはれぬ古入の

右 琳賢

秋のゆきよもいふはくはたもあはれぬ古入の

十一番 葉

十三番 葉

き 大貳三

まはるもいふはくはたもあはれぬ古入の

右 勝 皇太后は権亮頼國

とてはよもいふはくはたもあはれぬ古入の

まはるもいふはくはたもあはれぬ古入の

とてはよもいふはくはたもあはれぬ古入の

十四番 九月盡

き 勝 常陸君

とてはよもいふはくはたもあはれぬ古入の

右 前執事と仲実

秋く新ぬふばあしりもあつらひくはふもあまをまの
 おうけしつらふもあまをまのあまをまの
 うらなもあまをまのあまをまのあまをまの
 うらなもあまをまのあまをまのあまをまの

十五番

まら

よん

あけぬも猶秋もまはるもあけぬもまはるもあけぬも
 まはるもあけぬもまはるもあけぬもまはるもあけぬも

あけぬも猶秋もまはるもあけぬもまはるもあけぬも
 まはるもあけぬもまはるもあけぬもまはるもあけぬも

あけぬも猶秋もまはるもあけぬもまはるもあけぬも
 まはるもあけぬもまはるもあけぬもまはるもあけぬも

右雲居寺結縁經後真歌合花苗代謹誼本書寫校合